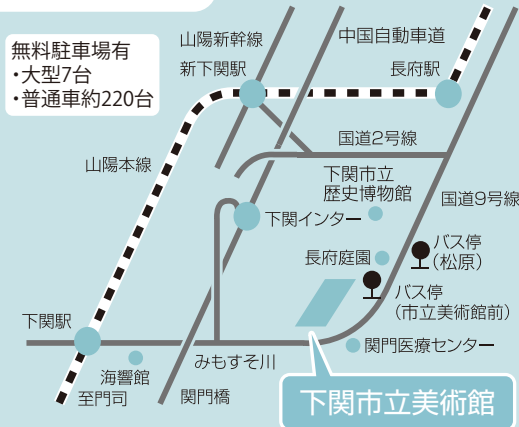


開館日カレンダー

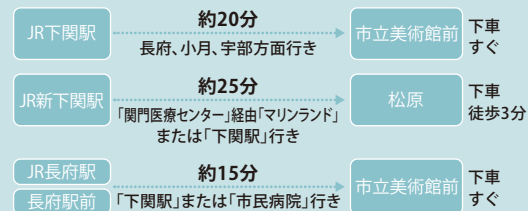
■ 開館日(展覧会開催日) ■ 休館日(展示替え含む)

2021 4							5							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3							1	
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	
							30	31						
6							7							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5					1	2	3	
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	
8							9							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7					1	2	3	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	
29	30	31					26	27	28	29	30			
10							11							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2				1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					
31														
12							2022 1							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4							1	
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	
							30	31						
2							3							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	
27	28						27	28	29	30	31			

交通のご案内



■ バスをご利用の場合



■ 自動車をご利用の場合

下関インターチェンジから「壇の浦」方面へ、「みもすそ川」交差点で国道9号線へ合流、左折して約5キロ

体の不自由な方、 小さなお子様をお連れの方へ

貸し出し用車イス・ベビーカー・多目的トイレがあります。また、授乳のためのお部屋のご利用はお申し出下さい。



普及教育事業

美術の普及を目的に、子どもから大人まで幅広い世代の皆様を対象としたプログラムをご提供いたします。詳細は、下関市の広報誌のほか、下関市立美術館の公式ウェブサイト、Twitter、Facebookでも随時お知らせいたします。

●メニュー
講演会／美術講座／造形教室(実体験)
ギャラリートーク(展示解説)／その他



下関市立美術館

Shimonoseki City Art Museum

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1

Tel. 083-245-4131

Fax. 083-245-6768

<http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/bijutsu/>

(Twitter) <http://twitter.com/artshimonoseki>

(Facebook) <http://www.facebook.com/shimonosekicityartmuseum>

下関市立美術館 展覧会スケジュール2021年度

Shi Mo Bi



ご利用案内

開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日

- 祝日以外の月曜日
- 年末年始(2021年度は12月27日～1月3日)
- 展覧会前後の展示替え期間

観覧料

【所蔵品展】※()内は20名以上の団体料金

- 一般 210円(160円)
- 大学生 100円(80円)

【特別展】展覧会により異なります。

観覧料の減免について

※公的証明書の提示が必要です。

■ 全額免除(無料)となる方

- 18歳以下の方
- 高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の方
- 以下の手帳をお持ちの方
身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳
- 以下の手帳をお持ちの方の付添の方1名
身体障害者手帳(1級～4級)、精神障害者手帳、療育手帳

■ 高齢者の減免について

所蔵品展	下関市と北九州市在住の方で、65歳以上の方	半額免除
特別展	下関市在住の方で、65歳以上の方	

Shimonoseki City Art Museum

2021.4 ▶ 2022.3
Exhibition Schedule

～5/9(日)

所蔵品展 No.154

【特集】マンガと芳崖

Comics and Kano Hogai

日本画のマンガ的要素を紹介する特集「マンガと芳崖」ほか、「令和2年度の新収蔵作品／修復作品紹介」、「生誕110年 椿義則」の2つのテーマ展示も同時に開催します。

なお、令和2年度修復事業は「ふるさとしものせき応援基金」を活用した事業です。

Shimonoseki City Art Museum Exhibition Schedule

5/15(土)～7/11(日)

所蔵品展 No.155

【特集】アヴァンギャルド大集合

Avant-garde Art Coming Together

地域にゆかりのある作家のひとり、桂ゆき(1913-1991)は戦前から紙やコルクを用いた実験的な作品を制作し、二科展に出品するとともに、同会員による前衛グループ九室会結成に参加した画家です。このたびは彼女を中心に、所蔵品に見るアヴァンギャルドというテーマで、様々なジャンルを織り交ぜて構成します。



瑛丸《夜の夢》1957年、下関市立美術館蔵



桂ゆき《伐採》1942年、下関市立美術館蔵

7/17(土)～9/5(日)

特別展

久保修 紙のジャポニスム～Kirié 線のかたち～

A World of Kirié by KUBO Shu



久保修《盛夏》2006年、個人蔵

山口県美祢市出身で国際的に活躍する切り絵画家・久保修(1951～)。<和紙>をベースにパステルやアクリル絵の具、砂、布などを組み合わせた独自の技法と表現で新しい切り絵の世界を描き出しています。国内各所の移り変わる四季折々の風物詩、食材などをテーマとした「紙のジャポニスム」は、国内外で高く評価されています。このたびは2021年、画業50周年の節目を迎える久保の、郷里山口県での記念展として初期の作品から最新作までを展示します。



久保修《トマト》2015年、アトリエ蔵

9/11(土)～10/17(日)

所蔵品展 No.156

【特集】生誕110年 香月泰男

Commemoration of the 110th Anniversary of Kazuki Yasuo

山口県三隅町に生まれた香月泰男は、1938年下関高等女学校にて教鞭をとりながら文展で特選をとるなど、画壇での足場を確立し本格的に画家として歩み出しますが、まもなく召集を受け、終戦後もシベリア抑留を体験します。戦後は「シベリア・シリーズ」をライフワークとしますが、一方で身近な風景や生物などを主要なモチーフとした作品も多く手掛けており、香月の表現世界は、特殊な極限体験(抑留)と日常生活(身近な風景等)との重なりによって築かれているといえるでしょう。

2021年で生誕110年を迎えることを記念して、香月の表現世界を、下関市立美術館所蔵品にて紹介します。



香月泰男《尾花》1948年、下関市立美術館蔵



香月泰男《月》1949年、下関市立美術館蔵

所蔵品展 No.156

【特集】生誕110年 香月泰男

Commemoration of the 110th Anniversary of Kazuki Yasuo

9/11(土)～10/17(日)

10/30(土)～11/13(土)

11/20(土)～令和4年(2022年)1/10(月・祝)

The 15th Art Festival of Shimonoseki City

第15回下関市芸術文化祭・美術展

企画展 潮流・下関

Currents of Art in Shimonoseki: Collaborations of Artists and the Art Museum

下関在住の写真家、吉岡一生と清水恒治。ともに1932年生まれのふたりは、高校在学中の1950年代から写真を手掛け、下関を拠点に長年にわたり活動しています。1962年新谷照人を含めた3人で結成した「グループSYS」は、1980年代にかけて文化財の記録・保存にも貢献しました。本企画展では、グループでの活動のほか、記録という機能を保持しつつも芸術性を意識して制作された、吉岡の《きょう・つれづれ》シリーズ、清水の《岩からのメッセージ》、《蕩尽の島》シリーズなど、それぞれの代表作を紹介します。



清水恒治 《蕩尽の島》シリーズより 1986-87年、下関市立美術館蔵



吉岡一生 《きょう・つれづれ》シリーズより 「テカテカ石畳」 1991年、下関市立美術館蔵

1 / 11(火) ～ 2 / 10(木) 工事等のため休館

特別展 野村佐紀子 写真展「海」

Sakiko Nomura Exhibition "blue water"

野村佐紀子(1967～)は、下関生まれの写真家です。1991年よりアラーキーこと荒木経惟に師事し、人物や男性ヌードなどの静謐な写真で、国内をはじめ、海外でも高く評価されています。

故郷下関で開催する初の個展となる本展は、モノクロームを基調とした代表作を中心に、最新作も加えて構成します。死と隣り合う生の儂さを見つめる野村のまなざしを通して、私たちの生の実相に迫ります。



野村佐紀子 『NUDE / A ROOM / FLOWERS』より 2012年、作家蔵

2/11(金・祝)～3/27(日)